

5分でなるほど納得！ ミニ研修スライド

若年の先生方へ その1！

「先生、この勉強、もう自分でやりました！」

にどう対応しますか？



はじめに

様々な対応に追われつつ、何とか新学期が始まり、子供たちに向き合っておられる先生方、本当にお疲れ様です。時間がない中でこのスライドを開いて下さりありがとうございます。3ヶ月近くを自宅で過ごした子供たちへの指導は、私たちも体験したことがありません。

先生方がお困りかもしれないといったことに少しでもお役に立ちたいという思いで本スライドを作成しました。

5～10分での学びとなるようにしています。早速始めます。

「先生、この勉強、もう自分でやりました！」

間違いなくいます！このような子は。というより、これまでもいました。
ただ、3ヶ月でとても増えたことは間違いありません。

このように言う子（決してこの子が悪いということではありません）が、

「そうか、私は、そのように進めたらいいんだな。

よし、がんばろう！」

と言えるような進め方を考えてみたので参考にして下さい。

※「こうしましょう！」ではなく、「私なら、こう対応する」です。

※各学校で行っている進め方を否定するものではありません。

※基本的な考え方

授業で一番大切なことは、「私たちが何を教えるか」より、

「子供たちが何を学んだか」「その子がどんな力を付けたか」です。

これは、大きく違います。

これからの授業（新学習指導要領）で、このことは一層重視されます。

「明日の算数の授業は、このページを教えたらいい。」ではなく、

「明日、このページを終えた時に、子供がこんなことができるように

なるように授業を考えよう！」です。

※基本的な考え方

「このページを教える」であれば、

「もうやってるこの子たちは、どうしよう…」になりますが、

「このページで、こんな力を付けよう！」だったら、

一人一人の「こんな力」を変えるだけで十分対応できます。

それも、教える先生が全て考えるのではなく、一人一人に決めさせる
ことができます。

1 自分に合ったゴール設定

私だったら、こんな話をします。

「休みの間に、いろいろなやり方でまだ習っていないところも自分で取り組んだ人もいれば、復習はできたけど自分では先に進めなかった人もいますね。当然です。

そんな人たちが、同じページを進めることになります。そこで、先生は考えました。『それぞればらばら進めましょう』では、せっかくこうして一緒に学んでいる意味がありません。」

1 自分に合ったゴール設定

「同じページをしても、みんながそれぞれ力を付ける方法です。

それは、このページを進めるに当たって、**自分なりのゴールやめあてを決めること**です。（今までもしていたかもしれませんが…）

例えば、

『私は、初めて学ぶので、このページの最後の問題が確実にできるようになりたい！』

『僕は、自分でやって、最後の問題はもう解けるから、自分で数を

1 自分に合ったゴール設定

変えて、違う問題を作り、どんどん問題を解きたい！』

『私は、まだ1つの解き方しか考えてないから、違うやり方でこの問題が解けないか、違う方法を考えたい！』

『僕は、自分でいろいろな解き方はできるけど、人に説明する力を付けたいから、分からない人がいたら説明したい！』

などなど、違う問題を自分で作って解く、解き方について違う方法を考える、よく分かるので友達に説明する力を付ける など、自分に合った

1 自分に合ったゴール設定

ゴールを決めることができるようになりましょう！めあてやゴールを自分で決めることも、これからとても大事になる力です。」

というような話です。

「このページで、自分は、こんな力を付けよう！」

…個人差が出てくる時間は、ぜひ、一人一人に自分に合っためあてを立てさせてみてはどうでしょう。

※繰り返しになりますが、当然、最初に指導が必要です。

2 一人一人の学びを評価する

一人一人が自分のゴールに向かって学びを進めたら、先生は、一番支援を必要とする子たちの対応をすればいいことになります。

『友達に説明したい！』という子がいたら、一緒に「先生」になってもらって一人一人に対応します。

★分かるようになってきた子には、「よくできたね。」

★教えてくれた子には、「○○さんのおかげで、△△さんは、この問題ができるようになったよ。ありがとう！ それに、○○さんの説明、とても

2 一人一人の学びを評価する

分かりやすくなったよ。これは、△△さんがしっかり説明を聞いてくれたおかげだね。お互いに、とてもいい学びができたね！」

★自分で問題を考えて解決している子や、自分で別の方法を考えている子には、「自分で～～できて、素晴らしい。おかげで、先生はこの学習が苦手な〇〇さんたちにじっくり教えることができたよ。その解き方、よく思いついたね。みんなの参考になるから、紹介してもいいかな？」
「おもしろい問題を考えたね。みんなができるか紹介しようか？」など。

おわりに

いかがでしょうか。

これから、私たち「教える側」に必要な力は、『上手に教える力』よりも、

『一人一人の力に合った学びの目標を設定させる力』

『一人一人の学びを適切に見取って、評価する力』

かもしれません。（当然、上手に教える力も必要ですが！！）

では、次回は、「**あの動画の先生の方が分かりやすい！**」

こんなことを言う子に対して、どうするかを考えましょう！